

# 神の手研究所

God Hand Laboratory

REPORT.05

ゴッドハンド製ニッパー

アルティメットニッパー、ブレードワンニッパー、ケロロニッパー、ブレードワンミニ  
●発売元/ゴッドハンド●発売中

## ゴッドハンド製ニッパーを切り比べ! あなたにあった最適のニッパーを見つけよう

工具メーカー「ゴッドハンド」の工具をワンテーマで掘り下げる隔月連載。平成最後の「神の手研究所」はゴッドハンドから発売されているニッパー4種をそれぞれ切り比べてみてご紹介! ゲートから少し離れたところからパーツを切り離し、パーツに沿って切る“二度切り”で各ニッパーの特徴を解説していきます。価格、性能、扱いやすさとさまざまな目線から、あなたの求めるニッパーをさがしてみましょう。

※BANDAI SPIRIT「HGUC 1/144 グスタフ・カール(ユニコーンVer.)」を使用しております

**アルティメットニッパー** ●4800円



①パーツの切り離し

②ゲートカット

“究極の切れ味”の超薄刃を持つ片刃ニッパー。刃とまな板の関係で切る片刃構造になっています。デザインナイフで切るように削ぎ落とす切り方が可能で、切断跡が残る、白化が起きるといったことがありません。

ただ、衝撃で刃が欠けやすく、超薄刃と相まって、雑に扱うと刃が破損してしまうことがあります。多少の注意が必要ですが、それに合う性能を持つハイエンドモデルです。

**ブレードワンニッパー** ●3800円



①パーツの切り離し

②ゲートカット

ゴッドハンド製片刃ニッパーのスタンダードモデル。アルティメットニッパーと同じく薄刃のゲートカット用ニッパーで、片刃の特性を生かした削ぎ切りができます。安定性、耐久性を上げた扱いやすいモデルになります。

刃を厚くし、強度を上げていますので、作業時にしっかりとゲートを挟むことができ、安定してきれいに切れます。アルティメットニッパーは少し不安だという方や、よく壊してしまうという方は、こちらを選ぶのがおすすめです。

**ケロロニッパー** ●1200円



①パーツの切り離し

②ゲートカット

『ケロロ軍曹』のグリーンカラー、刻印が施されていて、低価格で購入もしやすいというエントリーモデルに最適なニッパー。グリップも太めで握りやすく、手への負担が少ないのもポイント

低価格のニッパーとはいえ、切れ味にはこだわっており、ゲートカットではそこそこきれいな切断面になります。断面に切断跡が残ってしまうことがあるので、きれいに処理する場合にはナイフ等でゲートを処理すると良いでしょう。

**ブレードワンミニ** ●3600円(ゴッドハンド通販限定)



①パーツの切り離し

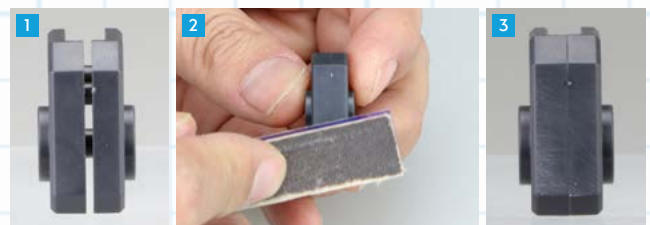
②ゲートカット

ゴッドハンドの新しいプラモデル用ニッパー。小型で場所を取らない、かわいいニッパーです。しかし小さいからと侮ることなかれ! 片刃構造なので、切り口はきれい、しかもブレードワンよりも刃が丈夫になってます。レジンも3mm径までカットできる頼もしいヤツです。手の小さな方はメインのニッパーとして、手の大きい方もサブとしても最適なニッパーです。コンパクトな持ち運び用でも切れ味は妥協できない、そんな方も満足できる最新モデルのニッパーです。

### きれいに切っておくと、ヤスリ作業も楽々♪

きれいに切れるニッパーを使えば、ナイフ等でゲート処理をせずにそのままヤスリ掛けに入れます。また、表面処理のヤスリ掛けも回数が少なく済み、無駄に削りすぎることもしなくなります。大幅な作業時間の短縮が図れるので、表面処理を行う場合にも作業が楽になります。

①/2パーツをアルティメットニッパー(左)とケロロニッパー(右)で二度切りした状態。ケロロニッパーの方は若干ゲート跡が白くなっています ②/パーツを組み立て面を合わせて600番で10回ヤスリ掛けします ③/ヤスリをかけた終わった状態。ゲート跡は両方平らに仕上がっています。白化した部分は残ったままで、ゲートカットでパーツ側のプラに力がかかっているのがわかります



自社直営店

## GodHand

模型工具専門店のゴッドハンド

模型工具に特化して運営している自社直営店

<https://shop.godhandtool.com/>



### まとめ

ニッパーは、プラモデル工作にとって、とても大事な工具です。どうせ表面処理するからゲートカットはどうでもいいかと思っても、その後は面倒な作業が待っています。ゲートをきれいに切るといことは、その後の作業時間や仕上がりに影響しますので、ニッパーを選ぶのは大事なことです。目的や使い方にあったニッパーを選んで模型ライフをより快適にしてみましょう。